

学校教育目標

活気があふれ、心が潤い、一人一人がより良く生きる学校
考える子（知） やさしい子（徳） たくましい子（体）

学校経営方針（学力に係る目標）

- 考える子
- 相手の立場に立って話を聴き、意欲的・主体的に学習に取り組む子
 - よく考えてから自分の責任で判断し、誠実に行動する子
 - 生きがいについて自分なりに考えることができる子

本校の課題

- （全国・県学力・学習状況調査の分析より）
- 聞かれていることを理解し、文章を正しく読み取る力に課題
 - 文の構成の基礎・基本となる知識や語彙力に課題
 - 文章問題の内容を読み取り、思考・判断・表現する力に課題
 - 図形の問題における基礎・基本の知識の定着に課題

目指す児童

- 意欲的、主体的に学習し、自分なりの考えを持つことができる児童
- 自分から挨拶したり、分け隔てなく誰に対してもやさしい言葉がけをしたりできる児童
- 向上心を持ち、目標に向かって粘り強く努力し続けることができる児童
- 相手を否定することなく、互いの個性を認め合える児童
- 心をひとつにして、皆で物事に取り組むことができる児童

学力向上の手だて

- 学習規律（集団での学び方）の徹底
- 個に応じた指導（個別最適化）
- 基礎・基本の力の確実な定着
- 音楽指導力、英語指導力の向上
- 学力向上プラン（全国・県の学力調査の活用を含む）の充実と効果的な実施
- 学校応援団との効果的な連携
- ICT の効果的な活用を基にした授業研究の充実（GIGA スクール構想）

各教科等の授業改善の手立て

国語	- 言語活動を通して言葉の特徴や使い方などを指導する。 - 主体的・対話的な学びを深め、他者と交流する表現活動を行う。 （低）身近なことや経験したことなどから話題を決め、伝え合うために必要な事柄を選ぶ。 （中）相手に伝わるように、理由や事例などを挙げながら、話の中心が明確になるよう話の構成を考える。 （高）資料を活用するなどして、自分の考えが伝わるように表現を工夫する。
社会	- 児童が学習問題を見出し、その解決への見通しをもって取り組ませる。 「社会的な見方・考え方」を働かせ、課題を追究したり解決させたりする。 （中）社会に見られる課題を把握し、その解決に向けて選択・判断したことを表現する力を養う。 （高）社会に見られる課題を把握し、その解決に向けて選択・判断したことを説明したり、議論したりする力を養う。
算数	- 課題を明確にし、個に応じた指導を工夫しながら、主体的に問題解決に取り組ませる。 - 考えを伝え合う場や発表する場を設定し、互いに学び合ったり、高め合ったりするなどの学習活動を充実させる。 （低）自分の考えをもって、主体的に活動に取り組ませる。 （中）自分の考えを伝えあい、互いに学び合う場を多く設け、学習活動を充実させる。 （高）自分の考えを相手にわかりやすく伝え、互いに学び合ったり、高め合ったりする場を多く設け、学習活動を充実させる。
理科	- 問題解決型の授業展開を行う。（問題、予想、（理由）、実験、結果、考察、結論、振り返り） - 見通しをもって観察、実験を行い、体験的な学習や問題解決的な学習を重視した指導を行う。 （中）3年生「比較する」4年生「関係付ける」ことをしながら問題解決を図る。 （高）5年生「条件を制御する」6年生「多面的に考える」ことをしながら問題解決を図る。
生活	活動や体験などによって振り返り表現する機会を設定したり、気づきを伝え合い交流したりする場を設定する。 （低）幼児期に育まれた資質・能力を発揮し、体験と言葉を使って低学年らしく活動ができる。
音楽	音や音楽及び言葉によるコミュニケーションを図り、言語活動を適切に位置付けた指導を行う。 （低）音楽を聴いて、聴き取ったことや感じ取ったことを自分の言葉で書いたり、伝え合ったりする。 （中）音楽を聴いて、聴き取ったことと感じ取ったこととの関わりに気付きながら、自分の言葉で書いたり伝え合ったりする。 （高）音楽を聴いて、聴き取ったことと感じ取ったこととの関わりを考えながら、自分の言葉で書いたり伝え合ったりする。
図工	- 視点の明確な造形・絵画表現活動を行う。 - 互いのよさや個性などを認め、それぞれが感じたこと等を言葉で整理する。 （低）作品や身近な材料などについて、感じたことを話したり聞いたりする。 （中）感じたことや思ったことを伝え合い、表し方や材料による感じの違いについて知る。 （高）感じたことや思ったことを伝え合い、表し方の変化、表現の意図や特徴などをとらえる。
家庭	- 生活をよりよくする方法を考えたり、説明したりする。 - 実習等における情報収集・整理や実践結果の発表・振り返りを行う。 （高）ICT 機器などを活用しながら、目的に合わせて計画を立て、実践結果をもとに評価・振り返りを行う。
体育	思考・判断のねらいにそった指導と具体的な言葉かけを行う。 （低）感じたことを素直に表現できるような雰囲気づくりや声かけをする。 （中）運動の特性や魅力に応じて課題をもち、またそれを解決するために、動き方や運動する場、練習の仕方などを工夫できるようにする。 （高）特定の方法を反復、継続的に当てはめるだけでなく、自己の課題に向け、その解決の仕方を工夫できるようにする。
外国語・外国語活動	理解していること、できることを使って自分の考えや気持ちなどを外国語を通して伝え合う活動を行う。 （中）「外国語で聞いたり話したりして」「聞くこと」「話すこと（やり取り）」及び「話すこと（発表）」の三つの領域を通して養う。 （高）「聞くこと」「読むこと」「話すこと（やり取り）」「話すこと（発表）」「書くこと」の五つの領域を通して養う。
特別の教科 道徳	物事を多面的・多角的に考え、自己を見つめる学習指導を行う。 （低）物語の登場人物になりきって、気持ちを考える。 （中）振り返りを大切にし、これまでの自分とこれからの自分について考える。 （高）振り返りを大切にし、自分の考えを明らかにした上で、これからの自分の姿を考える。
総合的な学習 の時間	- 他者と協働して問題解決したり、言語により分析しまとめたりする。 - 導入の課題設定の場面で見通しやゴールのイメージを持たせる。 （中）自分で課題を立て、情報を集め、整理・分析して、まとめ・表現を行う。 （高）探究的な学習に主体的・協働的に取り組むとともに、積極的に社会に参加しようとする態度を養う。

特別活動	・自分自身及び自分と違う考えや立場にある多様な他者と、互いを認め合いながら活動させる。 （低）めあてに沿って自分の意見が言える。 （中）それぞれの意見をくравえ合いながら話し合いができる。 （高）自分の考えを広げたり、多面的・多角的に考えたりして話し合いができる。
------	---